

レジストアートとの業務提携の強化に関するお知らせ

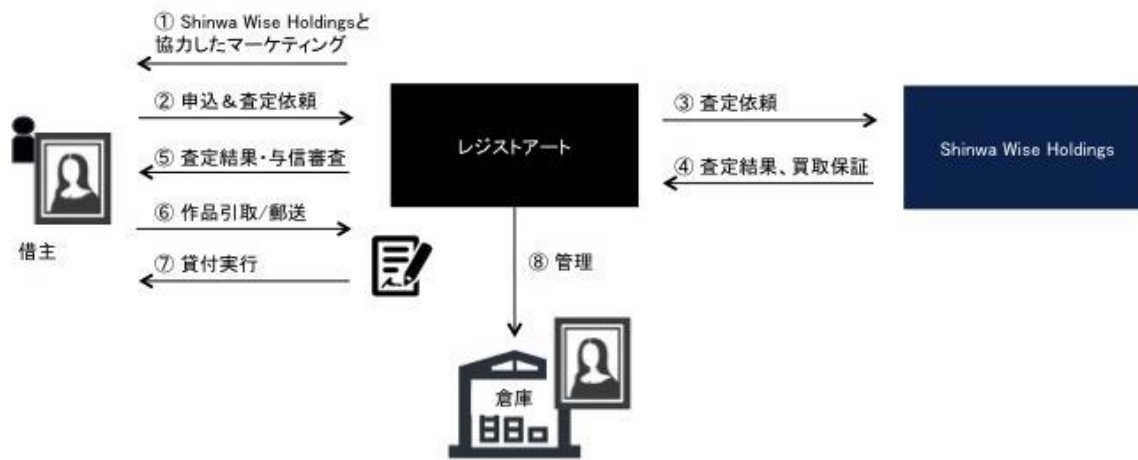
Shinwa Wise Holdings株式会社(東京都中央区、代表取締役社長：倉田陽一郎、以下「Shinwa Wise Holdings」)は、株式会社レジストアート(本社：大阪府岸和田市、代表取締役：竹林陽一、以下「レジストアート」)と既に締結している資本業務提携につき、アート担保ローンをはじめとする具体的な事業開発に向けて、包括的な業務提携の強化を図ることで合意致しました。

記

幅広い富裕層ネットワークを有するShinwa Wise Holdingsは、最先端のブロックチェーン技術等を駆使したシステム開発を行うレジストアートと協力することで、業界において先駆的な下記事業の構築を進めて参ります。この度の提携強化により開始するアート担保ローン事業は、アートギャラリーや画廊といった法人やアートコレクターをはじめとする個人向けに、各々が保有するアート作品を担保として融資を行うサービスとなります(下記【アート担保ローンのスキーム概要】もご参照ください)。

- ①法人または個人向けアート担保ローン事業
- ②所有権システムを融合させたオークション販売事業
- ③アートファンド事業

【アート担保ローンのスキーム概要】



レジストアートは、2018年8月より日本でいち早くブロックチェーン技術を活用した所有権プラットフォームを運営しており、HIROSHI SUGIMOTO、Thomas Ruffといった世界で活躍するアーティストをはじめとする多くの作品登録を実現して参りました。当プラットフォームと親和性の高い上記事業を構築することで、アート業界における資金の流動性を高め、アート市場の活性化へと繋げることを目指します。

Shinwa Wise Holdingsは国内最大手のオークションハウスであるShinwa Auction株式会社の運営を中心として、国内やアジアの富裕層ネットワークを有しており、テクノロジーや新たな連携を通じて新しい流通市場の創造を実現することで、日本の美術市場を再生していくことを掲げております。レジストアートの事業に対しても早くから期待して頂いており、2018年6月より、倉田陽一郎氏にはレジストアートの取締役としても経営に参画頂いております。

本業務提携の強化を通じて、両社が掲げる国内アート市場の再評価を実現し、市場参加者にとってより良い環境を整えていけるよう両社一丸となって尽力して参ります。

Profile

竹林陽一



東京大学工学部卒。米コロンビア大学大学院博士課程中退(修士号取得)。モルガン・スタンレー、ゴールドマン・サックスにて不動産証券化などの金融商品開発業務に従事した後、2013年よりベンチャー業界へ。農業ベンチャーやアート解説コンテンツ制作会社で役員を務めた他、ハイテク領域を含む幅広い業界の経営支援に携わる。2018年より、青山悟氏、原良介氏とのコレクティブを通じて、アトリテラシー向上、創造性の醸成等の観点でワークショップ活動も行っている。2019年6月より現職。

倉田陽一郎 氏



東京大学経済学部卒。外資系金融機関を経て、投資顧問会社創業。1998年、金融危機の際に金融担当大臣秘書官として日本の金融システム再生に参画。2001年よりアートに専念。日本のアートオークション会社の初めての株式上場を主導。オークション会社経営17年。アートコレクター。ワインコレクター。低迷する日本美術市場再生プロジェクトを提唱。近著に、『日本のアートマーケットが1兆円になる日「日本美術市場再生プロジェクト」始動!』がある。